

平成23年度病院事業会計決算の概要

病院事務局経理班
0479-72-1525

1 平成23年度病院事業会計決算の状況

(単位:千円)

	病院事業	介護老人保健施設事業	合計
収益	1,961,637	568,054	2,529,691
費用	2,032,191	588,941	2,621,132
差引	△ 70,554	△ 20,887	△ 91,441

繰入金	240,884	26,265	267,149
差引	△ 311,438	△ 47,152	△ 358,590

病院事業では、医師2名の退職と泌尿器科の休止等で患者数が減少したことにより、入院、外来収益ともに減少し、収支は70,554千円の赤字となりました。

(一般会計繰入金を差引いた場合、311,438千円の損失)

介護老人保健施設(そうさぬくもりの郷)においては、入所者、通所者の増加により施設事業収益が増加するとともに、また、訪問看護ステーションでは、訪問件数の増や訪問リハビリの拡充により収益は増加しましたが、一方で給与費の増加などにより収支は、20,887千円の赤字となりました。

(一般会計繰入金を差引いた場合、47,152千円の損失)

病院事業合計では、91,441千円の損失が生じ、前年度と比較すると86,910千円損失は悪化しました。

(一般会計繰入金を差引いた場合、358,590千円の損失)

病院事業

(単位:千円、%)

区分	23年度		22年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
病院事業収益 A	1,961,637	100.0	2,079,460	100.0	△ 117,823	△ 5.7
医業収益	1,758,806	89.6	1,836,168	88.3	△ 77,362	△ 4.2
入院収益	1,073,120	54.7	1,108,325	53.3	△ 35,205	△ 3.2
外来収益	555,741	28.3	585,147	28.2	△ 29,406	△ 5.0
他会計負担金	48,486	2.5	52,587	2.5	△ 4,101	△ 7.8
その他医業収益	81,459	4.1	90,109	4.3	△ 8,650	△ 9.6
医業外収益	202,751	10.4	243,292	11.7	△ 40,541	△ 16.7
他会計補助金	195,714	10.0	239,027	11.5	△ 43,313	△ 18.1
その他医業外収益	7,037	0.4	4,265	0.2	2,772	65.0
特別利益	80	0.0	0	0.0	80	皆増
病院事業費用 B	2,032,191	100.0	2,066,189	100.0	△ 33,998	△ 1.6
医業費用	1,986,969	97.7	2,020,432	97.8	△ 33,463	△ 1.7
給与費	1,176,993	57.9	1,196,244	57.9	△ 19,251	△ 1.6
材料費	309,612	15.2	312,453	15.1	△ 2,841	△ 0.9
経費	378,261	18.6	391,996	19.0	△ 13,735	△ 3.5
減価償却費	113,174	5.6	113,485	5.5	△ 311	△ 0.3
その他医業費用	8,929	0.4	6,254	0.3	2,675	42.8
医業外費用	44,102	2.2	45,337	2.2	△ 1,235	△ 2.7
支払利息	4,066	0.2	5,655	0.3	△ 1,589	△ 28.1
その他医業外費用	40,036	2.0	39,682	1.9	354	0.9
特別損失	1,120	0.1	420	0.0	700	166.7
差引(A-B)	△ 70,554		13,271		△ 83,825	

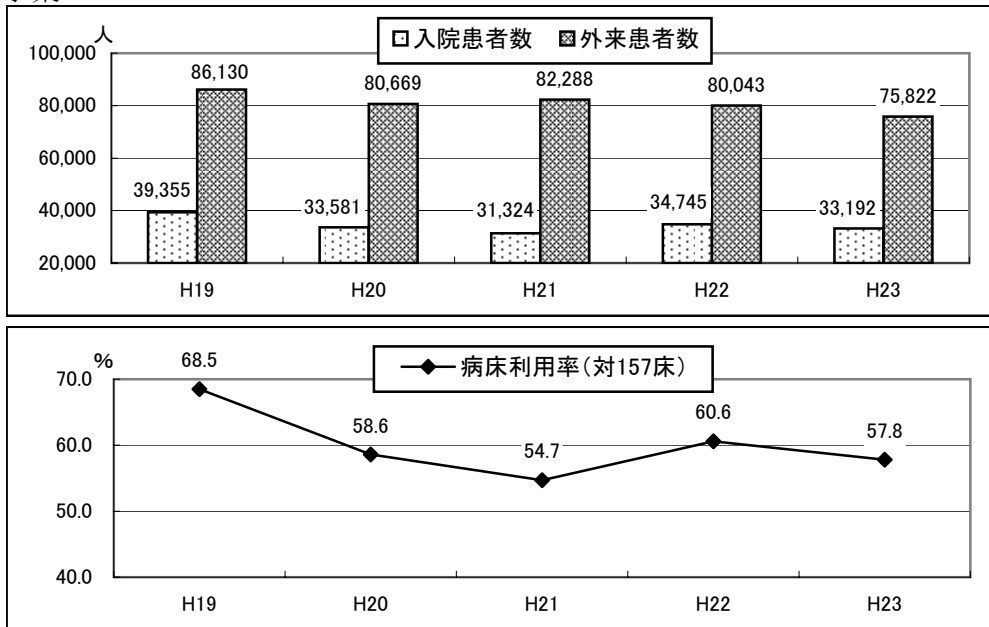
介護老人保健施設事業

(単位:千円、%)

区分	23年度		22年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
介護老人保健施設事業収益 A	568,054	100.0	558,372	100.0	9,682	1.7
施設事業収益	466,780	82.2	460,482	82.5	6,298	1.4
訪問看護ステーション収益	52,324	9.2	45,445	8.1	6,879	15.1
居宅介護支援事業所収益	22,007	3.9	24,417	4.4	△ 2,410	△ 9.9
施設事業外収益	26,854	4.7	28,028	5.0	△ 1,174	△ 4.2
特別利益	89	0.0	0	0.0	89	皆増
介護老人保健施設事業費用 B	588,941	100.0	576,174	100.0	12,767	2.2
施設事業費用	479,698	81.5	471,544	81.9	8,154	1.7
訪問看護ステーション費用	56,717	9.6	50,007	8.7	6,710	13.4
居宅介護支援事業所費用	23,181	3.9	23,888	4.1	△ 707	△ 3.0
その他医業外費用	29,343	5.0	30,735	5.3	△ 1,392	△ 4.5
特別損失	2	0.0	0	0.0	2	皆増
差引(A-B)	△ 20,887		△ 17,802		△ 3,085	

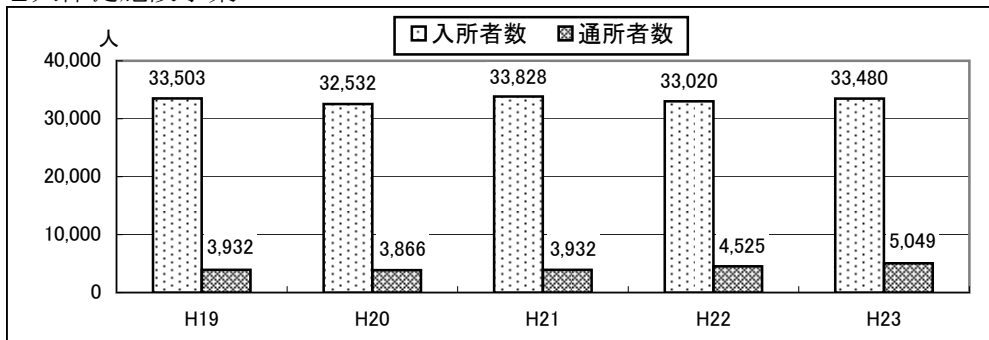
2 患者数の状況

①病院事業



平成23年度では、整形外科医1名、外科医1名の減少等により入院患者は、前年度に対して1,553人(△4.5%)減少の33,192人、外来患者は、泌尿器科の休止等により前年度に対して4,221人(△5.3%)の減少の75,822人となった。病床利用率は、57.8%と前年度に対して2.8ポイント減少した。

②介護老人保健施設事業

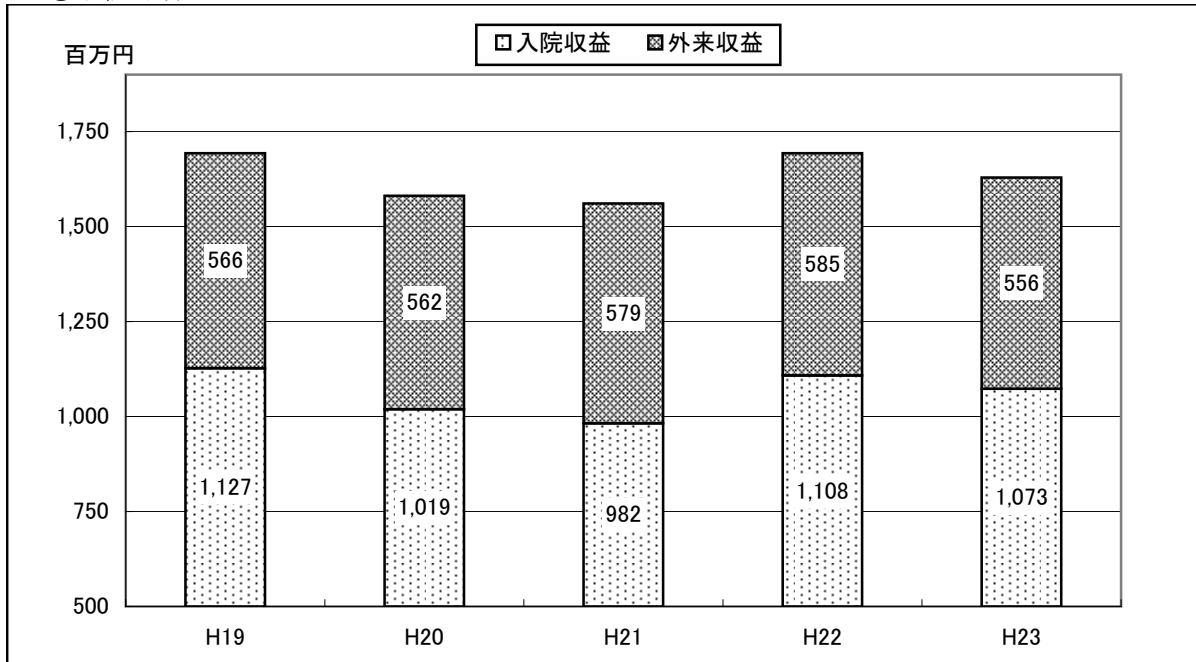


介護老人保健施設そうさぬくもりの郷の入所者数は、前年度に対して460人(1.4%)増加の33,480人となった。通所者は、前年度に対して524人(11.6%)増加の5,049人となった。

3 収益的収支

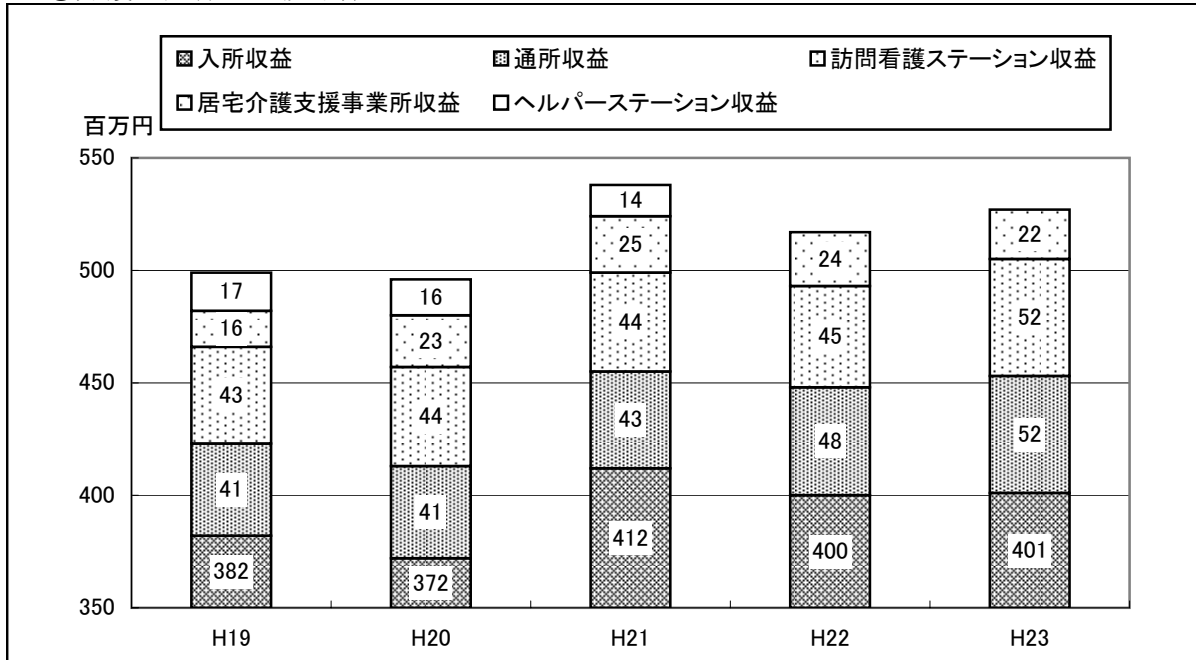
(1) 収益

①病院事業



整形外科医1名、外科医1名の退職と泌尿器科の休止等により入院、外来収益ともに減少し、入院収益は、前年度に対して35百万円（△3.2%）減額の1,073百万円、外来収益は、前年度に対して29百万円（△5.0%）減額の556百万円となった。

②介護老人保健施設事業



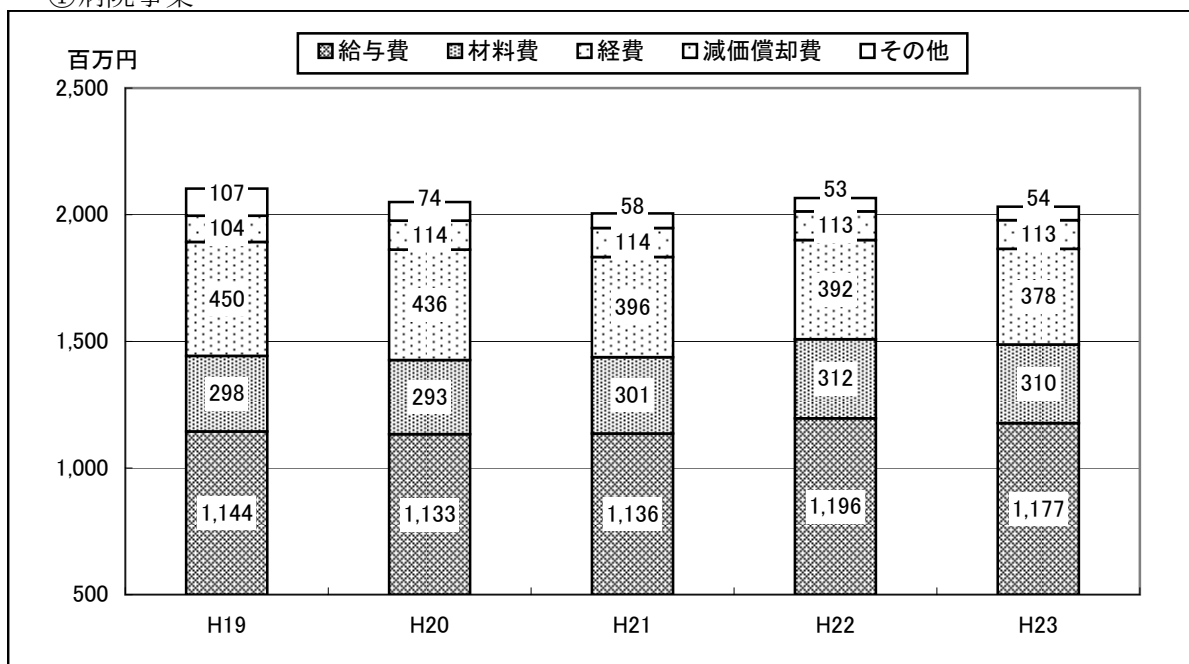
入所収益は、入所者数の増加により前年度に対して1百万円（0.3%）増額の401百万円となった。

通所収益は、通所者数の増加により前年度に対して4百万円（8.3%）増額の52百万円となった。

訪問看護ステーション収益は、訪問件数の増と訪問リハビリの充実により前年度に対して7百万円（15.6%）増額の52百万円となった。

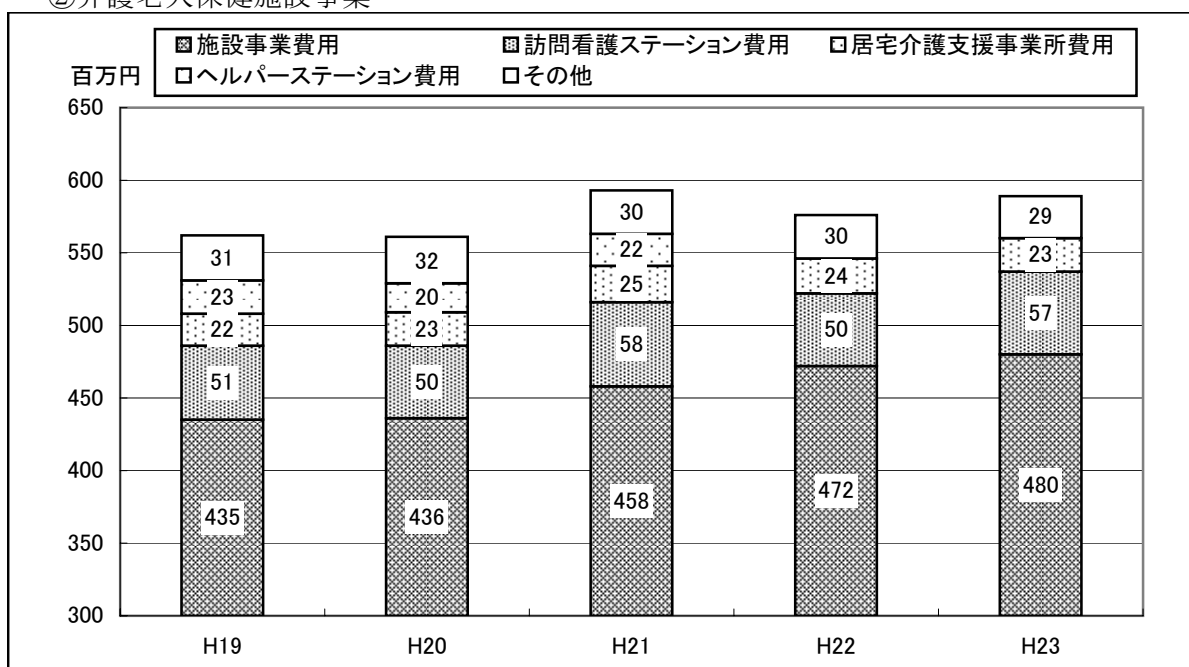
居宅介護支援事業所収益は、2百万円（△8.3%）減額の22百万円となった。

(2) 費用
①病院事業



給与費は、医師数の減少などにより前年度に対して19百万円（△1.6%）減額の1,177百万円となった。
 材料費は、薬品費が増加した一方で、診療材料費が減少したことにより前年度に対して2百万円（△0.6%）減額の310百万円となった。
 経費は、旭中央病院医師派遣委託料等の減少により前年度に対して14百万円（△3.6%）減額の378百万円となった。
 減価償却費は、前年度と同額の113百万円となった。

②介護老人保健施設事業



施設事業費用は、給与費等の増額により前年度に対して8百万円（1.7%）増額の480百万円となった。
 訪問看護ステーション費用は、給与費等の増額により前年度に対して7百万円（14.0%）増額の57百万円となった。
 居宅介護支援事業所費用は、前年度に対して1百万円（△4.2%）減額の23百万円となった。

4 経営指標の状況

(単位:千円、%)

区分	H19	H20	H21	H22	H23	H22全国 自治体 病院平均
経常収支比率	99.6	100.8	98.0	99.8	96.5	100.1
医業収支比率	90.6	85.3	84.1	89.1	86.8	92.4
医業収益に対する職員給与費	56.8	60.8	61.3	60.0	61.4	53.3
医業収益に対する医療材料費	15.3	16.2	17.0	16.4	16.9	23.0
1床当たり繰入金	1,776	2,702	3,734	3,676	3,379	3,583

(地方公営企業決算状況調査)

経常収支比率及び医業収支比率ともに収益が減少したことにより悪化した。全国平均と比較しても低い数値となっている。

医業収益に対する職員給与費は、61.4%と前年度と比較すると収益が減少したことにより悪化し、全国平均の53.3%に対して8.1ポイント上回っている。病床1床当りの繰入金は、3,379千円と前年度と比較すると297千円の減額となり、全国平均を下回った。

5 病院事業貸借対照表(平成24年3月31日)

資産の部

区分	金額
1 固定資産	
(1)有形固定資産	
ア 土地	200
イ 建物	1,504
ウ 建物付属	705
エ 構築物	22
オ 医療器械	296
カ 器具備品	69
キ 車両	6
有形固定資産計	2,802
(2)無形固定資産	
ア 電話加入権	1
イ 施設利用権	2
ウ その他無形固定資産	33
無形固定資産計	36
固定資産合計	2,838
2 流動資産	
(1)現金預金	665
(2)未収金	450
(3)貯蔵品	12
流動資産合計	1,127
3 繰延勘定	
(1)控除対象外消費税	21
繰延勘定合計	21

資産合計 3,986

負債の部

(単位:百万円)

区分	金額
4 流動負債	
(1)未払金	118
(2)その他流動資産	8
流動負債合計	126

資本の部

区分	金額
5 資本金	
(1)自己資本金	2,840
(2)借入資本金	1,386
資本金合計	4,226
6 剰余金	
(1)資本剰余金	
ア 受贈財産評価額	113
イ 寄附金	31
ウ 補助金	595
資本剰余金合計	739
(2)利益剰余金	
ア 減債積立金	3
イ 建設改良積立金	9
ウ 当年度未処理欠損金	1,117
利益剰余金合計	△ 1,105
剰余金合計	△ 366
資本合計	3,860

負債資本合計 3,986

資産合計及び負債資本合計は、それぞれ39億8,600万円で前年度と比較すると6,100万円の増額となった。資産の部のうち、固定資産総額は、建物付属や器具備品の減額等により前年度に対して5,600万円減の28億3,800万円となった。流動資産は、現金預金及び年度末診療報酬請求分等の未収金の増額により前年度に対して1億2,000万円増額の11億2,700万円となった。

資本の部のうち資本金は、前年度に対して7,400万円増額の42億2,600万円、剰余金は、当年度未処理欠損金の増により前年度に対して5,600万円減額の3億6,600万円のマイナスとなった。